

平成 24 年度日進市地域公共交通会議 生活交通部会 議事録

日 時 平成 24 年 10 月 19 日 (木) 午後 1 時 20 分から
 場 所 日進市役所本庁舎 2 階第 4 会議室
 出 席 者 小塚みね子 (委員)、石川和美 (委員)、松岡坂重 (委員)、竹下啓 (委員)、
 松本幸正 (会長)、都築基雄 (副会長)、仲龍典 (副会長)
 欠 席 者 武田敏弘 (委員)、鈴木義尊 (委員)、三輪洋子 (委員)、水野利子 (委員)
 大竹弘真 (委員)
 事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 なし
 議 題 (1) くるりんばす見直し案の検討について
 そ の 他

発 言 者	発 言 要 旨
	1 開会
事 務 局	あいさつ (生活安全課長)
	部会長あいさつ
部 会 長	この会議は全体会議と異なり市民委員のみで構成されています。遠慮なく忌憚の無いご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
事 務 局	それでは、部会長に議事進行をお渡しします。
部 会 長	議事録署名者を順番により指名します。今回は小塚委員と石川委員、お願いします。
(議 題)	(1) くるりんばす見直し案の検討について
部 会 長	それでは続きまして、議題 (1) について、事務局からご説明をお願いいたします。
事 務 局	(資料に基づき説明) (1) くるりんばすの目的は、福祉目的の公共施設巡回バスからスタートし、その後、民間路線バスの撤退等の状況を受け、地域の足として通勤・通学にも利用されるようになり、総合交通としての役割も担うようになってきた。 今回示した見直し案は、こうした状況を踏まえつつ、前回の地域公共交通会議でお示した、評価視点ごとの見直しの方向性に基づき、実施時期について短期及び中長期に分類して作成したものです。 作成に当たっては、平成 21 年度の改編以後事務局に寄せられたご意見や 22 年度・23 年度に実施したアンケートの自由記事術欄に記載されていた内容を参考にした。
部 会 長	議題について、ご意見・ご質問はございますか。
部 会 長	今回、改編から丸 3 年が経過したということで、改めて見直しをするということで今回の案が出されたものです。短期のものについては 25 年度中に実施し、中

発 言 者	発 言 要 旨
	長期のものはそれ以降に検討を進める、というように整理されています。
委 員	市民の足となりました以上は、年末年始の運行はやってもらいたいと思います。
部 会 長	年末年始は、通勤通学の利用は少ないでしょう。
委 員	通常と同じだけの運行は必要ないので、例えば半日とか、年末年始ダイヤという形で良いと思います。
委 員	年末年始に利用したいという人には、病院に通院するために利用したい人が多いと聞いています。
委 員	ダイヤ改正というのは、何年かおきに行うという決め事がありますか。
部 会 長	必ずしもそういうことはありませんが、一定期間が経過したということで、一度振り返ることが必要ということで見直しを行うものです。 また、見直しといっても必ずしもダイヤが変わるということではありません。今回は、短期的に行えることと中長期にわたって検討が必要な内容に整理して考えられています。
委 員	あまり頻繁に時刻表が変わると、覚えたと思ったら変わってしまうことになるのではないのでしょうか。
部 会 長	そのためにこの生活交通部会があるわけで、定着したか、変えた方が良いか、ということについて、生活者、利用者の立場で検討する中でその必要性を考えていけば良いと思います。
委 員	子ども会でくるりんばすを使った日進探訪という企画を行いました。そのときは、大体同じ時間で市内のあちこちに行って帰って来られたので、使い勝手としては良いのではないかと感じました。
部 会 長	子どもさんは将来の利用者ということで、今からバスに乗ってもらって馴染んでもらえたらと思います。
委 員	バス停の位置について、今の路線を決めるにあたってバスの間隔を半径 300m とした経緯があったと思います。 また、バスの運行目的について、当初の福祉目的であった高齢者の足の確保という点と、路線廃止に伴う通勤通学の足という点について、今後税収の伸びが期待できない中で全てをカバーしていくことは難しいと思います。強調していくにはどちらかに絞っていく必要があると思いますが、どちらにするかで方向性が変わると思います。 休日や年末年始の運行については、病院や市の施設が休みのところもあることから施設の利用状況や、通勤通学がない点を考慮してはどうでしょうか。
部 会 長	高齢者の足と通勤通学とどちらを伸ばすべきだとお考えですか？
委 員	今後も利用者を増やすという考え方をするかどうかだと思います。私も通勤にくるりんばすを使うことがあります。朝は良いのですが、帰りは少し残業をして帰ると最終バスに間に合わないことになり、結果としてバスを利用することができないこととなります。費用対効果ということも考える必要はありますが、利用者を増やすとしたらこうした点を考慮することも必要になると思います。

発 言 者	発 言 要 旨
委 員	事務局が用意した資料がありますので、これに従って一つずつ検討してはいかがでしょうか。
部 会 長	それでは、「A目標の達成度」についてご意見はございますか。
委 員	バス停の位置について、おりど病院バス停（東側）の位置が、横断歩道と病院の間であって、バスから降りた人が南の横断歩道まで一度下って渡った後、また上らないといけない。そうなると、バス停を降りてそのまま道路を横断しようとする人もいて、非常に危ないと感じます。できればバス停をもう少し北に置いて、病院の前に横断歩道がつけられると良いと思います。
事 務 局	バス停や横断歩道の位置は、カーブや坂道といった道路の構造や交通量など交通安全の面から適切な位置が判断して決められています。ご意見をいただいた箇所については一度現況を確認してまたご報告させていただきます。
部 会 長	病院の中にバスが乗り入れてくれるといいのですが。
委 員	道路の幅も狭いので乗り入れはなかなか難しいのではないのでしょうか。
事 務 局	本日の会議でご議論いただきたい点は、今回お示しした資料のとおり 20 年度に実施した再編の際に評価の基準として定めたものがございます。今回、再編後 3 年が経過したため、その基準に従って見直しを進め、その場合、取り組みとしてすぐに取り組めるものを短期、検討に時間を要するものを中長期として整理しました。この内容について、ご議論をお願いしたいと思います。
委 員	バス停の廃止・増設について、バス停の利用状況はどうなっているか資料を見ますと、「市役所東」というバス停は多くのコースで非常に降車数が少なくなっています。しかし、北コースだけは降車している人が比較的多いです。これはどういう理由になっているのでしょうか。「農協」バス停も降車人数をみると右回り、左回りで大きく数が違います。
委 員	北コースは、一度「市役所東」を通り過ぎて市民会館へ行ってから「市役所」へ戻ってくるため、早く市役所へ行きたい人が降りられるのだと思います。
委 員	降りる人や乗る人がいないバス停は素通りしていますか？
部 会 長	バス停には発車時刻が決まっているため、遅れている場合はそのとおりですが、早く着いた場合は時間調整のために発車時刻が来るまで停車することになっています。
部 会 長	廃止する方はダイヤに影響を与えませんが、新たに作る方はダイヤに影響を与えますからダイヤ見直しとあわせて行う必要があるといえます。
委 員	今回示されたデータは降車のデータなので、降りる人がいなくても乗車する人がいるかもしれませんから、これだけで判断することは難しいです。
部 会 長	くるりんばすの運用は税金でまかなわれていますから効率的に行う必要があります。
委 員	今回は具体的なバス停名について検討するのではなくて、示された案にある「現行のダイヤに影響を与えない範囲」とされていますので、この方向で良いのかについて考えては如何でしょうか。

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	既にいくつか新たなバス停設置について直接事務局に要望されているものがありますので、そうしたものが条件に合えば設置できるものと考えます。それ以外にも、候補にあたるような場所があれば是非ご意見をお寄せください。
部 会 長	続いて「B利用者数の増加」についてご意見ございますか。
委 員	利用者を増やすという観点ですが、定期券を現在1か月千円で販売しているものを2か月で千円としたら利用者が増えるのではないのでしょうか。
部 会 長	ひとりが1か月に何回利用するかというデータが過去にあったと思います。
委 員	そのデータに基づいて、1か月千円を決めたはずですから、それを変えるとなると大きな変更といえます。
委 員	1か月千円を2か月千円にするということは、1か月500円でもいいということですよ。
委 員	そうですね。
委 員	となると、収入が減るということになりますよね。
委 員	その分、倍乗るようになれば良いと思います。
委 員	毎月定期券を購入する手間も考えると、値段は安くしなくても2か月の定期を出したら売れると思います。
部 会 長	2か月千円にしたら間違いなく売れると思いますが、その金額がサービスに見合うか、という問題だと思います。通常、鉄道などの定期券には3か月、半年、1年という長期割引、というのはありますが、これとは別の話だと思います。
委 員	何処に行く場合の選択肢としての一番の理由は利便性だと思います。同程度の利便性であれば安い方を選択すると思います。金額が安いかどうかは二の次で、利用者を増加させるのであれば、まずは利便性を充実させる方が大切だと思います。既に年間49万人が利用している状況の中で半額にしたら2倍になる、というのはあまり考えにくいと思います。ただし、長期割引的な若干の割引であれば市の負担もそこまで大きくないでしょうし、あってもいいと思います。
部 会 長	2か月に延長することで乗車率は向上するでしょう。しかし、収入は減少するかもしれません。市が完全に慈善事業としてやってくれるならばいいでしょうが税金の使い道としてそうは行かないところだと思います。 期間の延長はやっていただいてもいいのかと思います。
委 員	期間が長い定期の方が、利用があると思います。
部 会 長	定期券の販売は事業者がやっていることなのでその兼ね合いもあります。
事 務 局	現在、定期券は、バス車内であれば7コースは市役所、中央線は赤池駅・古戦場駅での停車時間中に販売しています。また、24年1月からにぎわい交流館でも販売するようになり、バスに乗らないときも購入できるようになったということで好評をいただいています。 何故1か月のみか、ということにつきましては、運転手が販売する場合は複数の券種を処理すると日付を押し間違えなど負担があるということから、1か月に限定させていただいています。

発 言 者	発 言 要 旨
委 員	ユリカの時代は名鉄バスの車内で3,000円、5,000円という複数の券種を買えました。
部 会 長	<p>労働条件が異なりますので、くるりんばすの場合は難しいということではないでしょうか。停車時間は休憩時間ですのでその中で販売するというのもあると思います。市役所バス停周辺に定期券販売所を設ける、ということをするとなれば経費も人件費もかかるということです。今のやり方は効率良くやっているということです。</p> <p>とはいえ市がやっている公共交通、市民サービスですから、要望があればやれることはやってもらう、1か月を2か月、3か月、それにもぎわい交流館であればどうか、ということだと思います。</p> <p>定期券については料金に関わる制度を変えるわけで、大きな問題ですから検討課題としていくのは良いことだと思います。</p>
委 員	このような意見を踏まえて実施の可能性について事務局で検討してください。
委 員	今年度中に実施できますか？
事 務 局	調整に時間が必要となりますので、実施時期については未定です。
委 員	周知は早い方が良いと思います。
事 務 局	実施が決定しましたら速やかにPRさせていただきます。
委 員	「上手な利用の方法」という部分は重要だと思います。特に周知の方法については、現在不足していると思いますので、この部分についてはしっかりやっていただきたいと思います。
部 会 長	市町間のコミュニティバスの乗り継ぎについては、公共施設の相互利用といった考えから連携が図られると良いと思います。駅での乗継ができるようになっていところですが、実際に乗継利用している人は少ないです。ダイヤ調整を行うとなるとダイヤ再編成の際に行うことになると思います。くるりんばすのダイヤ調整だけでも大変なところですが、そうしたこともできると良いと思います。
部 会 長	続いて「C満足度の向上」についてですが、事務局、如何でしょうか。
事 務 局	年末年始について、6日全部ではなく1日又は2日、それも1日11便ではない条件で試験的に実施が可能か検討中です。
部 会 長	変則ダイヤで7コースでの実施について検討中とのこと。
委 員	年末年始の需要はどのようなものがあるのですか？
委 員	病院や買い物など、年末でも外出したいことはあります。
委 員	買い物は、家族と一緒に、と考えていましたが、最近では年末に家族が帰ってくる人ばかりでもないということです。
委 員	病院はともかくスーパーは年末でもかなり開いていますね。
部 会 長	買い物については、最近はスーパーでも宅配してくれるようになりました。
部 会 長	現在の49万人の利用はほぼ固定客といえます。なので、急に倍増ということも無いでしょうが急に激減、ということも無いといえます。しかし、もう少し利用を伸ばしたいと思います。そうなったときに例えば年末年始の運行、少々の負

発 言 者	発 言 要 旨
	担で行えるというものについては考えても良いのではないかと思います。
委 員	やるのであれば事前のPRをしっかりとお願いしたいと思います。
部 会 長	この会議にも関係の代表の方にお集まりいただいておりますので、そうしたそれぞれの組織でも周知をお願いすることも必要だと思います。
委 員	PRということで、広報にっしんでバスの利用を呼びかけてもらいたいと思います。数年前に市長にもお話しさせていただいています。数えてみるとこの2年間で6, 7回はありましたが、これでは少ないと思います。毎号の裏表紙に今月の利用者数を載せる、行事案内にはどのバスで行けるのか行き方を一緒に載せる、ということをする必要があると思います。毎月は難しいとしてももう少し頻繁にバスのことを載せてもらえたらと思います。
部 会 長	今は情報の時代ですからどのように周知するかは重要な問題です。
委 員	行き方を広報に全部書くのは大変なのでバス停名だけを載せるようにして、バスのルート図の方に施設の位置を明記することで分かりやすくなると思います。
部 会 長	「D乗継利便性の向上」について如何でしょうか。
委 員	東郷町のルート図には電車の時刻表も載っています。こうしたものを皆さんで作っていくのは良いことだと思います。
委 員	平日と休日が別ページになっているため分かりにくいところもあります。
部 会 長	スペースや文字の大きさの兼ね合いもあるところでしょう。
委 員	コースが多いから難しいところもありますね。
部 会 長	最後に「E収益性の向上」について、如何でしょうか。
委 員	先ほども定期券のお話をしましたが、もう一つだけ。現在の定期券は高齢者に限定されていますが、何故高齢者だけなのか。一般の方でも利用したいという方は多いと思います。
部 会 長	高齢者への優遇措置ですから、これを拡げてしまったら優遇措置ではなくなってしまいます。
委 員	以前、名古屋の高齢者の無料パスの代わりとして市に要望したところ、高齢者交通費補助というのをさせていただきました。その後、公共施設巡回バスが運行するようになったときにこれを打ち切られました。これらの経緯から、バスが高齢者のためのものであることは間違いないのですが、近年利用が高齢者以外でも増えてきたことからこうした声も高まってきているのです。
部 会 長	バスの性質が変わってきたことから料金制度の見直しも必要ということだと思います。
委 員	そもそもくるりんばすとは何だったのでしょうか。以前は65歳以上が無料だったものから100円に有料化するときに、毎日利用する高齢者に負担が大きいということで、定期券制度を始めたものです。それとは別に一般のサラリーマンにとって100円の運賃が負担かという決してそんなことは無いわけです。 こうしたところを踏まえて今後の方向性の中で料金体系の見直しが必要かどうかということを部会として提案しては如何でしょうか。

発 言 者	発 言 要 旨
部 会 長	定期券を含めた料金体系をどうしたらいいかというのは非常に難しい問題で、すぐに結論は出せないと思いますが、中長期においては検討が必要な事項だと思います。
委 員	中央線は通勤通学を加味して200円なのでしょうか。
委 員	色々な要素がありますが、元々名鉄が運行していた路線で、市内循環と性質が違うということからです。
委 員	通勤が100円というのは、車通勤を減らすという環境問題も加味してのことではなかったでしょうか。
委 員	元々通勤は目的ではなかったです。要望として朝夕の時間を増やして欲しいということから、通勤通学にも対応するようになったものです。
委 員	最近の若い世代は車を利用しなくなっています。経済の厳しい状況から車を持たない、持てない人が増えているのかもしれませんが。
委 員	バスは継続性が必要な事業ですので、ある日突然走らなくなった、では困りますので必要な受益者負担というものについても考える必要があると思います。
委 員	バスでの広告収入をもっと進めたらよいと思います。
委 員	ルート図に広告料をとって商業施設の情報を掲載するのも良いでしょう。
部 会 長	他に意見がなければ議論を終了したいと思います。
(その他)	
事 務 局	次回、11月19日(月)に第2回地域公共交通会議を開催します。
部 会 長	以上で終了となります。皆様のご協力に感謝します。
	(閉会 15時30分)